

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
センシュウダイガク	ケイエイガクブ	タグチゼミナール
専修大学	経営学部	田口ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
タイキジドウカイケツタイ	ヒヤマ コウキ	4	無
待機児童解決隊	平山 光貴		

研究テーマ（発表タイトル）
人材不足解消による待機児童解決策の提案

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

待機児童問題を保育士の人材不足に焦点を当て解消する

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

待機児童とは認可保育園に入園を希望したが、入れなかった児童のことである。国が待機児童の数を初めて公表したのは、1995年である。それ以来、政府は様々な政策を行ってきたが、際立った成果は出ておらず、20年以上解決できていない問題となっている。

待機児童問題の原因のひとつは、女性の社会進出にある。女性が社会進出すると、子供の面倒を見る者がいなくなり、保育園のニーズが増加する。また、フルタイムで働くので、子供を遅くまで預かってくれる場所や職場が近い都内に人が集中してしまう。保育園では、それらの対策として延長保育や企業内保育など試行錯誤しているが、人手不足や土地不足など、まだ課題が残っている。

3. 研究テーマの課題

保育園は過酷な労働環境から辞めてしまう人が増加している。そこで人材不足を受けて、ハローワークや自治体との連携などの施策を行っているが現状満足いく雇用はできていない。政府は認可保育所などで無資格者が保育士として働くことを可能にしたが、現場の人材不足はまだ深刻な状況にある。そのため、保育園の人材不足を課題として設定する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

人材不足を補うために私たちが注目したのが、保育園に預けられない母親のニーズに応えているベビーシッターマッチングサイトである。ここで働いているベビーシッターが、派遣保育士として保育園で働けるプロセスの構築を提案する。新しい道筋の提供として、初めにベビーシッターとして働き、そこで好評価を得た人材を保育園側がスカウトする仕組みである。これは、柔軟性に富んだ派遣保育士として採用することで、ベビーシッターのニーズであるフレキシブルな雇用携帯や保育園が求める人材不足を補うことができ

る。このシステム構築が可能になれば、今までにない保育園で働くためのプロセスが誕生し、ベビーシッター業界の新たな可能性も生み出すことができると予想される。

５．研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

保育園、保育士専門学校、ベビーシッターマッチングサイト、行政、子育て中の母親にアンケートを実施。調査方法はインタビュー、メール、ウェブアンケートである。それぞれ待機児童問題についての見解や提案の実現可能性などについて質問し、随時提案を修正しながら繰り返し行った。

６．結果や今後の取り組み

世田谷に焦点を当て自治体が運営するベビーシッターサービス「ファミリーサポート」やベビーシッターマッチングサイトに協力を仰ぎ、この提案の実現に取り組んでいく。

また、ベビーシッターマッチングサイト運営者からのアドバイスをもとに、マッチングサービスと保育園をつなげるだけではなく、ファミリーサポートとマッチングサービスの関係も築いてく。そしてベビーシッターサービスの更なる発展から、保育園への人材提供の充実を図り、保育士を目指す者が保育士になれる道を拡大していく。

７．参考文献

・ガベージニュース <http://www.garbage-news.net/archives/2087326.html>（厚生労働省参考）

・東京都保育士実態調査 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2014/04/DATA/60o4s201.pdf>

・待機児童解消加速化プラン

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/taikijidokaisho_01.pdf（厚生労働省参考）

・待機児童解消持続のための保育サービスの質と量の確保

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/daitoshi/bunken/teianyoubou/2407youbou/youbousyo/09hoiku.pdf>（内閣府・厚生労働省提案）

・ニッセイ基礎研究所

<http://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=52887&pno=2?site=nli>

・子ども・子育て本部（内閣府） <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/data/torikumi.html>

・マッチングサイト IMOM

http://imom.jp/contents/contents/guide_cliant.html

・保育分野における人材不足の現状（厚生労働省）

<http://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=6&ved=0ahUKEwia2ZquoKzPAhWEnZQKHyeqByEQFgg9MAU&url=http%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Ffile%2F06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku%2F0000057759.pdf&usq=AFQjCNG3Ggm1xYFrLNO4aex3jUxtUd8okA>

・日本経済新聞 2016年3月4日朝刊「預かり保育 要件緩和」

・日本経済新聞 2016年9月9日朝刊「保育士、なり手確保力ギ」

・日本経済新聞 2016年7月20日朝刊「賃上げへ助成拡大」

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。